

社会福祉法人あおば福祉会
おひさま岡町保育園
2022年度（第22年度）事業計画

はじめに

2022年度より管理職が交代し、新体制でスタートします。職員一人ひとりが主体となり、理念や基本方針に基づき、こども・保護者・職員・地域の視点で安定した運営をめざしたいと思います。そのためにもこの数年基礎づくりに取り組んできた北支部や地域との連携を図り、事業計画の実現に取り組みます。

近年、社会的には0歳児入所問題が話題となり、当園でも4月当初の定員割れが起こっています。幼児は施設の条件を踏まえ、今後は段階的に15名を上限とし、計45名としていきます。1歳児においては、活動の保障や発達要求に応じていくために、少人数編成で保育を行っていきます。

2021年に20周年を祝う集いを行い、新たな1歩を踏み出しました。20年の歴史を土台に、子ども達をまん中に、保護者・職員、地域の皆様のお力も借りながら、地域から必要とされる保育園づくりをめざします。

◆大切にしたい保育内容・特徴

- (1)「食べることは人とつながり生きること」の方針にもとづき、栽培・クッキング活動、お手伝い活動、食文化の学びに取り組み、食を通して、人とのつながりや自然とのかかわりから生きる力につながる保育。
- (2) やりたいおもいが実現する身体づくりに向け、園外保育の充実や体育あそびに取り組み、友達との関わりが豊かになる保育。
- (3) 各年齢に応じた手指を使った活動保障の研究に努め、表現活動の充実に取り組み、豊かな感性を育む保育。

1. こどもの入園予定

おひさま岡町保育園 定員90名

(理事会当日現在)

クラス(対数)	定員	4月予定児童数	内支援児	新入園児数	継続児童数
0歳児(3:1)	15	4	0	4	0
1歳児(5:1)	15	15	0	5	10
2歳児(6:1)	15	15	0	2	13
3歳児(15:1)	15	16	0	3	13
4歳児(30:1)	15	16	0	0	16
5歳児(30:1)	15	14	0	0	14
合計	90	80	0	14	66

※一時保育事業実施

2. 職員体制と職員の状況(新規採用・異動職員)

新規採用者	保育士	元地 亜未	2022年4月1日付	(新採用)
異動者	園長	福井 茂	箕面保育園より	異動
	主任	久米 美智留	みのおっこ保育園より	異動
	保育士	小村 卓也	瀬川保育園より	異動

正職員・・・17名 園長1名 副主任3名(内1名栄養士) 保育士11名 栄養士2名

パート職員・・・15名

常勤パート職員	8名	保育士5名	看護師1名	栄養士1名	子育て支援員1名
短時間パート職員	7名	保育士2名	栄養士1名	調理員1名	保育補助3名

嘱託医・・・4名

内科	なんばこどもクリニック	難波 直樹 医師	歯科	カワムラ歯科診療所	河村 忠成 医師
眼科	安藤眼科	安藤 誠 医師	耳鼻科	かない耳鼻咽喉科	金井 龍一 医師

3. 子どもの安全と健康・危機管理

(1) リスクマネジメント・危機管理学習会と事故・災害対応に努める。

- ① コロナ感染症対策は引き続き行い、命を守ることを最優先課題とし、安全な環境づくりに取り組む。
- ② マニュアル（危機管理・保健・アレルギー）を使い、年間を通し学習や訓練を実施する。
- ③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）の防止に向けた5分チェックの徹底等、具体的事例を通し事故防止につなげ、職員の意識向上に努める。
- ④ 非常対策訓練は年間を通し、命を守る取り組みとして様々な自然災害・人的災害を想定し毎月実施する。
- ⑤ 地域と連携を図り避難協力体制を構築し、避難場所である小学校との連携訓練を行う。
- ⑥ AED・心肺蘇生・エピペン講習を実施する。

(2) 子どもの権利を守る保育の追求を行う。

- ① こどもの権利擁護や子どもを尊重した保育、児童虐待防止に関して等、具体的な内容を会議で討議し、職員の意識向上や保護者への周知徹底・援助を行う。
- ② 人権の観点から乳幼児における性教育について園内学習を行う。

(3) 保育環境・労働環境を守るために日々の点検を行う。

- ① 乳幼児会議では、施設、遊具の使い方、ルール等の確認を行う。
- ② 保健安全については、身体づくり委員会で実施し、リスクマネジメントに関する意識を高めていく。
- ③ 感染症予防においては、衛生推進者（看護師）、専門リーダーを中心にマニュアルの徹底、保護者への働きかけ、環境面への意識を高め、毎月の安全点検を行う。

4. 保護者の願いに応え、子どもと共に育ちあう関係を大切に

(1) 法人理念や基本方針に基づきながら、地域や保育園の規模など特性を生かした保育を行う。その中で保護者の要求や願いに応え、ともに育ちあう関係づくりに力を入れる。

- ① 行事・懇談会・個人面談・家庭訪問等を実施し、親睦・交流・共感を深められるような工夫をする。
- ② こどもや保護者が意見を述べやすい環境の整備と相談や意見に対して組織的に迅速に対応する体制づくりを行う。アンケート実施による意見やニーズの把握に努め、保護者会と連携を図る。
- ③ 卒園児の同窓会開催、ボランティア受入れを実施し、卒園後の相談についても行う。【文書発行】
- ④ ちいなかの会、みんなで保育・子育てを考える集会、合研等、保護者の子育て支援につなげていく。
- ⑤ こどもの権利擁護や子どもを尊重した保育、児童虐待防止に関して会議で討議し、職員の意識向上や保護者への周知徹底・援助を行う。
- ⑥ 要配慮家庭や虐待等権利侵害が疑われる場合は、個別面談を実施し、こども相談課との連携を図る。また、子育ての悩みが軽減される学習会を行う。
- ⑦ 20周年を土台に新たな会を発足させ、まつりや学習の場を保護者・地域と共につくりあげていく。

5. 地域に根差し、地域に必要とされる保育園をめざして（地域貢献事業）

(1) 地域に開かれた保育園を目指し、地域貢献事業にとりくむ。

- ① 地域の校区サークル『さくらんぼ』（月1回）園内の子育てサロン『ぽっかぽかクラブ』（月1回）のサークル支援を行う。地域（轟木公園）『ひと・まち・であい夏まつり』に参画する。
- ② 園庭開放、離乳食・給食試食会、赤ちゃんの駅事業、子育て相談等を実施する。

(2) 地域の教育機関・施設との連携を行う。

- ① 幼保小連絡協議会への参加、社会福祉協議会の交流会に参加する。
- ② 豊中市こども相談課や中部保健センターと連携し、定期的な観察記録を実施し、モニタリング対象児の継続的な見守りを行う。
- ③ 社会資源（伝統芸能館・図書館・保幼小・リサイクルプラザ・岡会堂）を活用した保育の充実をめざす。

(3) 地域にとって大切な社会資源としての保育園をめざす。

- ① 子育て講演の実施「新型コロナと子どもQ&A～part2～」 講師：松岡太郎氏（豊中市保健所長）・秋頃
- ② 実習生・ボランティアを受け入れ、未来の保育士養成や地域の社会資源としての役割を果たす。近隣地域の皆様と良好な関係維持に向け、防音対策や地域との確認書に基づき、職員との情報共有を図る。
- ③ 近隣の公園を（園庭）共有しているため、定期的に清掃に取り組む。

6. 職員の資質向上をめざして

(1) 研修計画に基づき、職員一人ひとりの目標が達成できるよう面談を実施する。

- ① 新採用面談（6月・9月）職員面談（夏・冬）を実施する。
- ② 保育の質の向上につながるアンケートを実施する。
- ③ 自己目標を策定し、年齢・階層別に必要とされる専門知識や技術を身につける。

(2) 「実践」と「学習」が結びついた研修を実施する。

- | | | |
|---------------------|----|------------|
| ・「子どもの発達学習会」 | 園内 | 講師：野村 朋 氏 |
| ・「保育実践を通して保育の質を高める」 | 園内 | 講師：長瀬 美子 氏 |
| ・「身体づくりと体育あそび」 | 園内 | 講師：塩田 桃子 氏 |

(3) 北支部内の施設連携を図り、園外研修参加の援助を行う。

- | | | |
|-----------------------------|------|------------|
| ・「理論と実践を結び付けて」 | おひさま | 講師：長瀬 美子 氏 |
| ・「場面記録から保育実践力を高める」 | おひさま | 講師：杉山 隆一 氏 |
| ・「あそびの内容を充実させるための保育計画1・2歳児」 | 瀬川 | 講師：長瀬 美子 氏 |
| ・「身振り表現をとおして対話力・思考力を育む」 | 瀬川 | 講師：山崎由紀子 氏 |
| ・「子ども主体でつくる身ぶり表現」 | 箕面 | 講師：山崎由紀子 氏 |
| ・「子どもの人権と発達保障」 | 箕面 | 講師：長瀬 美子 氏 |

(4) 保育実践提案

- ① 提案 第54回全国保育団体合同研究集会（高知） 「給食は保育の一環」 千田 絵美

(5) 他施設との交流を通して学び合う。

- ① 姉妹園との交流、校区内の保育園との5歳児交流、子ども財団主催の研修へ参加する。

(6) 職員の働きやすい環境づくりの整備に取り組む。

- ① 福利厚生観点から、職員がしっかりと休憩時間に休息できるよう賃貸マンションと契約する。
- ② ノンコンタクトタイムを創設し、事務時間の保障を行う。
- ③ 採用職員に対してメンタリングを活用し、個別指導や育成、相談に努める。

7. 中長期計画に関わって

(1) 人材育成

- ① 新体制に伴い、園長・副主任2名・乳児・幼児の5名で運営に責任を持ち、組織体制を構築する。
- ② 新採用職員も含め5年目未満の職員に対し、個別目標を明確にし、園内研修の充実に努める。
- ③ 北支部豊中地域での連携を図り、会議や行事等を通して人材育成に努める。
- ④ 育児相談員・スマイルサポーター（千田）の取得に努める。

(2) 施設整備

- ① 分園の園庭防音工事完了をめざす。総額1300万円
- ② 本園の1歳児専用のトイレを増設する。200万円

(3) その他

- ① クラス編成について、活動の保障や発達要求に応じていくために、1歳児低月齢と1歳児高月齢の編成で少人数保育を行う。
- ② 本園・分園の早朝・延長保育の在り方や定員について検討していく。